

Flair

June 2011
SPECIAL
ISSUE
THE TEIKYO SELF



USA
Columbus

P06



Germany
Berlin

P12



Teikyo Study



www.teikyo-u.ac.jp/flair/

Abroad Book

ホリデー留学のすすめ



UK
London

P18



Korea
Suwon

P24



- P04 About Study Abroad Program
- P30 Outline of Study Abroad Program
- P31 Letter from President



Teikyo Study Abroad Book

特集

ホリデー留学のすすめ

「ホリデー留学」とは、帝京大学が主催する2～3週間の短期留学プログラムのこと。大学独自のキャンパスを構えるベルリンとロンドン、そして提携校が迎え入れてくれるアメリカや韓国などの中から選ぶことができます。言語を学んだり、現地の歴史や文化に触れたりしながら、人々との絆を深めることができるまたとないチャンス。そんなホリデー留学を体験した先輩たちのレポートをお届けします。

Contents

- 04 About Study Abroad Program
ホリデー留学について
- 06 USA
コロンバス州立大学 [アメリカ]
- 12 Germany
帝京大学グループベルリンキャンパス [ドイツ]
- 18 UK
帝京大学グループロンドンキャンパス [イギリス]
- 24 Korea
水原大学校 [韓国]
- 30 Outline of Study Abroad Program
ホリデー留学までの流れ
- 31 Letter From President
学長からの手紙

日本とは違う環境で学べるのが新鮮!



UK

Teikyo University Group
London Campus

王族が静かな時を過ごす、
閑静で緑豊かな土地。

バッキンガムシャーと呼ばれる地域に位置する、帝京大学グループロンドンキャンパス。10世紀以降、王族関係者の名前とともに度々歴史に登場する由緒ある土地だ。近くには王室の居城としても知られるウィンザー城も。



Korea

The University of Suwon

ソウルからアクセスしやすい、
観光資源の多い街。

韓国の南西部・華城市に位置する水原大学校までは、首都ソウルからバスで約30分。大学の名前になっている水原市と華城市は隣同士である。ユネスコ世界文化遺産にも登録された「水原華城」にほど近い、歴史ある街だ。



Germany

Teikyo University Group
Berlin Campus

ヨーロッパの象徴のような、
絶好のロケーション。

ベルリンの中心部から南東へ移動すると見えてくる、ツォイトナー湖畔。その中にあるのが、帝京大学グループベルリンキャンパスだ。建物の周囲を取り巻くのは、白樺などで構成される混合林。幻想的な風景に心が奪われる。

3

4

1



USA

Columbus State University

アメリカ南東部に位置する、
産業の豊かな古き良き街。

ジョージア州コロンバス市までは、アトランタ空港から車で約90分。学生たちは、この街にあるコロンバス州立大学で学ぶ。古くは綿で栄え、現在はアフラック本社がある街としても知られる産業の豊かな街だ。

About Study Abroad Program

ホリデー留学について

アジアからヨーロッパ、アメリカまで、
世界の文化に触れられるのが楽しい。

ホリデー留学の特長は、学びのエリアが広範囲なこと。
英語を学びたい、ヨーロッパの芸術に触れたいなど、
一人ひとりの希望が叶えられるプログラムが用意されています。

ホリデー留学で、何が学べる？

異国の人や文化に触れて
ひと回り大きくなる。

長期留学にはそれ相応の準備や勇気がいるけれど、もっとお手軽に語学も勉強したいし、好きな国の文化にも触れたい...と思う人は多いはず。その点、2〜3週間という比較的短い期間で、気軽に興味のある場所へ足を運ぶことができるのがホリデー留学のいいところである。エリアも多岐に渡っているため、選択肢が多いのもうれしい。例えば英語を勉強したければ、英語圏であるアメリカやイギリス。アメリカの受け入れ先は、世界各国からも留学生がたくさん集まるコロンバス州立大学だ。敷地内にある附属の語学学校で学び、人種も年齢も違う留学生たちとアクティビティを楽しむ時間が設けられているため友達も作りやすい。帰国後もメールなどを通じて交流を図る学生が多いのも特長だ。

一方、帝京大学グループロンドンキャンパスでは4名の外国人講師が授業やアクティビティを担当。日常的に彼らと接する中で、徐々に英語を聞く耳や話す力が育てられていく。さらに、イギリスの一般家庭でアフタヌーンティーをいただきながら、自分の英語力を試すことができる機会も。同じようにアメリカでも、一般家庭で食事をしながら会話を楽しむ「ホームビジット」が用意されている。両国とも、英語に慣れるところから始められるという意味で最高の学習環境であることは間違いない。

ドイツや韓国なら、英語以外の言語も学べる。帝京大学グループベルリンキャンパスでは、ドイツ語と英語、両方の授業を実施。短期間でドイツ語を習得するのは至難の業だが、日常的な挨拶などを覚えて街で腕試しをする学生も多い。授業以外では、隣国へのショートトリップも用意されている。2011年春には、プラハやウィーン(もしくはブリュッセル)への訪問が実施された。美しい街並みを歩いたり芸術鑑賞をしたりと、それぞれが忘れられない思い出を作った。

プログラムで唯一のアジアである韓国・水原大学校では、2010年よりホリデー留学を実施。プログラムには1泊2日のホームステイが組み込まれ、現地の家庭の雰囲気に触れる機会が用意された。また、水原大生との交流会も開催。特に日本語を専攻する学生の多くは、日常会話程度なら日本語で会話をすることができる。これが、韓国人の友達を増やす絶好のチャンスとなったようだ。

どの国に留学したとしても、現地の人や文化と触れ合う中で、自分の成長に気づくことができるはず。それぞれの国の文化や街の雰囲気なども考慮し、自分に合った場所を選んでほしい。

Voice

留学生たちの声。

多種多様な国の人たちが集まる国、アメリカ。学生の街であるコロンバスだからこそ、様々な出会いと経験が詰まった滞在になりました。



ホームビジットで手伝ったクッキングも楽しかった!

古賀麻未さん 文学部心理学科

ずっと憧れていた留学。最初のホリデー留学に、アルバイトでお金を貯めて参加。「アメリカならではの、フレンドリーな雰囲気が好き」と話す古賀さんが次に行きたいのは、カナダだ。

Asami Koga

2度目の参加で、現地の友達と再会しました。

ネイティブに近い英語を学ぶことができた。

ホリデー留学制度を利用して、昨年アメリカを訪れたという古賀さん。二度目の参加を決めるきっかけになったのは、前回の留学で仲良くなった友達だ。「ベトナムやベネズエラ、コロンビアなどから来ていた友達というのでその前に会いに行こうと思って。彼らとは、私が帰国してからずっとメールのやり取りをしていたんです」

今回の参加で「また新しく友達ができた」と彼女は嬉しそうに話す。前回出会った友達とも、さらに友情を深めることができたようだ。その中の収穫は、やはり英語力。授業で習ったことも力になったが、現地の人々と日常会話を楽しみながらよりネイティブに近い英語を学べたことが大きかったという。「最終日には、すっかり英語に慣れた耳になったことが実感できました。でも、スピーキングに関してはまだまだ。言いたいことがあっても言葉が出ず、もどかしい思いをすることも何度かあったので、帰国後はさらに英語力を強化するために英会話の授業を履修しようと思っています。せっかくなので、元に戻らないという思いもありますね」

今回の参加で、長期留学への思いがますます強くなったという古賀さん。「将来は海外で暮らしながら、日本語教師として働くのが夢」と話す彼女にとって、2度の留学は大きな経験となったに違いない。



授業が終わったら、街で英語を使ってみる?

大学内のベンチにて、次の授業までしばし休憩。広大な敷地に緑が広がっており、晴れた日は特に気持ちがいい。

Hajime Inoue

文化の違いや共通点を見出すことで成長できた。

コロンバスは、留学生に優しい街。

今回の留学で井上さんが実感したのは「英語ができなさと話にならない」ということ。特に外国人と自分の語学力の差に、カルチャーショックを受けた。「ホームビジットで訪れたお宅には、アメリカ人の旦那さんとメキシコ人の奥さんの間に娘さんがいらっしやっただけです。彼女はまだ16歳なのに、英語に加えてスペイン語まで話すことができる。それを聞いたとき、日本は遅れていると感じました」

語学学校でも、英語を学ぶために留学している他国の学生と比べて自分たちの英語力が低いことにも衝撃を受けたという。「英語力をつけたい」という思いから参加したホリデー留学だったが、行く前よりも強くそう感じるようになった。そのため、場所として、コロンバスは最適だったようだ。「コロンバスは、留学生に優しい街。ファストフード店で会計をするときに金額を聞き間違えて多めにしってしまったのですが、店員さんが「こんなにしたら盗られちゃうから気をつけて」と言ってくれたんです。小さい街だからかもしれませんが、大学を中心に街が作られているような印象を受けました」

人々の優しさに触れ、意思の疎通をはかる中で「当たり前ですが、彼らも外国人である前に、自分と同じ人間。今までより身近に感じられるようになりました」と話す井上さん。英語や外国人に対する壁がなくなり、彼の世界もグンと広がったようだ。



こちらの英語が下手でも、みんな耳を傾けてくれます。

井上 元さん 経済学部経済学科

「日本に比べると、英語はひとつの科目にすぎない。でも、海外では大事なコミュニケーションツールだ」という認識が強くなりました」と井上さん。将来は英語を使った仕事がしたいと話します。

USA



Columbus State University

コロンバス州立大学 [アメリカ]

様々な国から集まる学生たちと接しながら成長できる学び舎。

授業だけでなく、人から教わることもたくさん。

コロンバス州立大学は、芸術や科学、経済を始めとする46の学科と42の大学院を有する総合大学。広大なキャンパスの中で、およそ8200人の学生が学んでいる。帝京大生たちは附属する語学学校に通いながら、大学の食堂やスポーツ施設などを利用できる。そのため、現地の学生やスタッフと接しながら生きた英語を習得できる。特に、日本以外の国から来た語学学校の留学生とはディスカッションをしたり、一緒にスポーツを楽しんだりして親交を深められる。人の温かさに触れ「またアメリカに行きたい」と思う人も多いようだ。



School
Columbus State University
4225 University Ave.
Columbus, Georgia U.S.A.
tel: +1-(0) 706-507-8800



Location
アメリカ南部を代表する歴史的な街

人口20万人弱のどかなコロンバス市にある。キャンパスの周辺には、野球場やサッカー場といったスポーツ施設も充実している。



観光名所のひとつである
コココーラ宇宙科学センターへ。

コロバス州立大学の施設。アポロ宇宙船カプセルのレプリカ展示やフライトシミュレーション、大迫力のシアターなどで宇宙を疑似体験した。



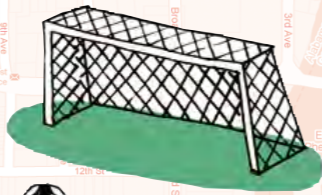
天気の良い日は、
オープンカフェへ。
ダウンタウンの街歩きに
疲れたら「ファウンテン
シティ・コーヒー」で一
服。晴れた日のオープン
カフェが心地いい。

多国籍な料理が集まる
ランチパーティ。

語学学校の留学生たちが、
自国の料理を持ち寄って
パーティ。6つほどのテー
ブルに分かれて座り、会話
を楽しんだ。



授業後、
ロープ結び
体験。



授業後、ガバメントセンター訪問。
夜は他国の学生とサッカー。



アトランタ空港を
出発。

授業後、Aflac本社訪問。

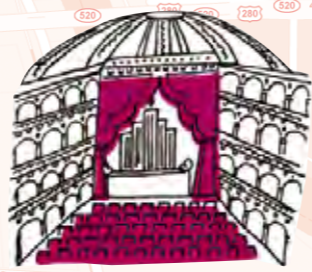


アトランタへ小旅行、ジョージアモール、
アクアリウム(水族館)、CNNセンター、
ワールド・オブ・コココーラ、アンドレッティ
センター(レースカードライティング)。

授業後、
ローラースケートや
バターゴルフ体験。



授業後、卒業食事に、
ピーチツリーモールでショッピング。



授業後、スプリング
オペラハウスで鑑賞、
リバーセンターツアー体験。

Schedule

21日間の全行程。

博物館見学やスポーツ観戦、家庭訪問。
小さいこの街を知りつくしてしまうほど、
たくさんの場所に出かけました。

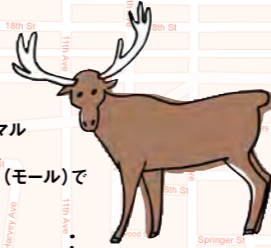


授業後、歩兵博物館見学。夜は
ゴーストウォーキングツアーor
音楽鑑賞。



他国の学生とランチパーティ。
現地の家庭でディナー体験。

ワイルドアニマル
サファリ見学、
ノースポイント(モール)で
ショッピング。



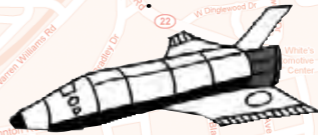
授業後、
キャンパスを見学。



アトランタ空港
到着後、ホテルへ。



授業後、午後は構内で
ロッククライミング体験。



コココーラ宇宙科学センター、
コロバス博物館見学。



授業後、午後は構内で大
学チームの野球を観戦。



授業後、午後は自由時間。



自己防衛の体験授業。
夜はアイスホッケー観戦。

家庭の雰囲気
味わえるホームビジット。

学生2~3人に分かれて、
一般家庭を訪問。飾らない
会話や食事を楽しみなが
ら、アメリカの文化に触れ
ることができた。



恋しくなったら、日本食もここで。
世界最大のスーパーマーケットチェーン「ウォルマ
ート」にてショッピング。食料品から日用品まで、何
でも揃うのが嬉しい。

大学の球場で、
本場の野球観戦。

大学の野球場で、コロバ
ス州立大学のチーム「COU
GARS」の公式戦を観戦。白
熱しつつも、どのかデー
ゲーム。



Staff

受け入れてくれるスタッフたち。

引率してくれた先生や、英語を教えてくれた先生。それだけでなく、大学の内外でたくさんの人たちが帝京大生を温かく迎えてくれました。



帝京大生は、私たちの大事な友達です。

Ronnie & Beverly Hendrix

ロニー(左)、ビバリー(右)・ヘンドリックスさん
ホームビジット受け入れ先

日本に滞在経験のある娘さんとも会話が弾んだ。また、アイスホッケー観戦のときはご夫婦で引率をしてくれるなど、お世話になった。

アメリカでたくさんの人に会い、友達を作ってほしい。

ホームビジット受け入れ先として帝京大生を招いてくれたビバリーさんは、英会話学校の教師。「私たちは学生が好き。チャンスがあれば、色々な国の学生と接したいと思っていました」

ホームビジットでは、旦那さんのロニーさんとともに学生たちと温かい時間を満喫。ビバリーさんの彼らに対する願いは「アメリカでたくさんの人に出会ってほしい」だ。「私たちのことも、友達だと思ってもらえたら嬉しい」と話してくれた。



言葉もカルチャーも、たくさん学んでください。

Emilie Gordon

エミリー・ゴードンさん
英語教師

英語のクラスを担当。ときにはモニカ先生と一緒に、野外に飛び出し遊びを挟むなど、アクティブで楽しい授業が帝京大生たちに人気だった。

自信をつけることで、英語のスキルはグンとアップします。

帝京大生たちの英語スキルを効率よく上げるためにはどうしたらいいか、いつも考えてくれたエミリー先生。彼女が大事にしていたのは、彼らにこれからも英語を勉強し続けられるような「自信」を与えてあげることだった。それでも「帝京大生たちはとても知的」と評し、ともに授業を楽しむことができたことと明るい表情を見せてくれた。「最終的には、彼らが不自由なく英語を使えるようにしてあげたい。それが、私の目標です」



授業だけでなく、人から学ぶことも大切。

Monica Cobis

モニカ・コービスさん
プログラムマネージャー

18年前から、英語を母国語としていない学生に英語を教えているモニカ先生。彼女の英語は帝京大生たちにとっても聞き取りやすく、話しかけやすい。

楽しみながら英語に触れることで、より多くのことを学んでもらいたい。

今回、終始帝京大生のお世話をしてくれたモニカ先生。「このプログラムの利点は、楽しんで英語を勉強できること。授業以外にもゲームやパーティーをしながら、多くのことを学んでもらいました」と話す。また、自身も学生時代にギリシャに留学した経験を持つ彼女。今年の夏休みは、当時のホストファミリーに会いに行くという。「彼らは今でも私の大切な仲間。帝京大生たちにも、アメリカで友達をたくさん作ってほしいです」

Good Point × USA

アジアや南米などからやってきた各国の学生と一緒に学べる、楽しい環境。

Luis Fabión Velasce Pava

ルイス・ファビオン・ベラスコ・パーヴァさん 留学生

コロンビア出身の31歳。帝京大生の印象について「コロンバスでの生活を、とても楽しんでいるようでした」と話す。



英語やアメリカの文化だけでなく、様々な国について知ることができる。

コロンバス州立大学附属語学学校には、各国からたくさん留学生が集まっている。そのため、様々な国の言葉やカルチャーを学ぶことができるのも特長のひとつだ。語学学校の生徒であるコロンビア出身のルイスさんは「帝京大生たちとお話をするのは、私にとっても日本のことを知る良い機会。お互いの言葉や文化に触れて、高め合えたら嬉しいです」と話す。アメリカ以外の国にも興味を持つことで、さらなる世界の広がりが見られる環境といえよう。

1Day Report

ある日の学生たちをレポート。

学びも遊びも、メリハリが大切。忙しくも充実した一日の中で、彼らはまたアメリカの新たな顔を見つけたようでした。

Time Table

8:00 朝食

宿泊しているホテルにて、朝食をとる。メニューはパンやワッフル、ヨーグルト、フルーツなどにドリンクがついたヘルシーなもの。

9:00 学校へ向けて出発

宿泊先のマリオットホテルまで、毎朝バンが迎えに来てくれる。学校まではおよそ5分。学校への送り迎えだけでなく、スーパーやダウンタウンに行く時もお世話になった。



9:30 英語の授業

授業のテーマは、音楽やスポーツなど様々。「音楽のジャンルには、どんなものがある?」という先生の問いに「Jazz」「Rock」などの声が上がると、YouTubeで鑑賞するという楽しい時間。



12:20 昼食

学食「クーガーズ・カフェ」でランチ。サラダや豆料理、パスタやブリトー、デザートまで一律料金で食べ放題のビュッフェ形式だ。ちなみに、帝京大生の中ではピザが人気だとか。



13:00 自己防衛授業

護身術とは「逃げる隙を作る」ためのもの。ふたり一組になって実践した後、体の大きな先生を相手に技をかけてみる。力を入れず誰にでもできるはずなのだが、最初はなかなか難しい。



17:30 夕食

ダウンタウンに足を運んだ時に、よく立ち寄るカフェ「DEN」にて食事。注文にトライすることで、英会話の実践にもなっているようだ。

19:30 アイスホッケー観戦

地元チームである「コロンバス・コットンマウス」は最初から優勢で、試合は2対1で勝利した。本場のアイスホッケーは、サポーターの応援も過激! また試合の合間に、リンクで行われる数々のショーも楽しくて目が離せない。



22:00 帰路

この日の帰りは、週末だったこともあり少し遅め。興奮冷めやらぬまま帰路についた彼らには、次の日も市内観光などのプログラムが待っている。

授業からスポーツ観戦まで充実した一日を過ごす。平日は、英語の授業から始まる。テキストも使うが、対話やゲームなどが組み込まれているものがほとんど。体を動かしながら英語を口にするため、話すことに対する抵抗が徐々に取り除かれていくようだ。午前のクラスが終わると、午後は様々なアクティビティが行われる。この日は「自己防衛授業」。戦うためではなく、逃げるための護身術を保安官である先生が教えてくれる。「思い切り右にひねって」などのアドバイスに苦戦しつつ、成功すると歓声が上がった。「自分の身は

自分で守るべき」という先生の言葉に、みんな納得した様子だ。その後、一同はダウンタウンへ。雑貨屋を巡ったり、カフェでお茶を飲んだりと思いの思いの時間を過ごしたあとは、待ちに待ったアイスホッケー観戦に向かう。地元チームと、アラバマ州のチームとの対戦試合だ。体がぶつかり合う本場ならではの迫力に、思わず手に汗を握る。最初は勢いに押され気味だったが、地元チームがゴールするとみんな飛び上がった。その国だからこそ味わえるインターンメントもいっぱい。学び、遊ぶ中で「アメリカを知りたい」という彼らの気持ちもより大きくなっていったようだ。

アラバマ州とジョージア州の境を流れる、チャタフチ川沿いでパチリ。コロンバスの観光名所でもある。



リバーウォーク、のびのびする!

Voice

留学生たちの声。

現地で異国の人と触れ合う機会の多かったベルリンキャンパス。加えて学生たちは、初めてのドイツ語や美しい街並みにも刺激を受けたようです。



ずっと日本だけにいるのはもったいないと思います!

水上聖子さん 外国語学部外国語学科

少人数だったこともあり「仲の良い友達ができ」と水上さんは話す。みんなと近くのスーパーに買い物に行ったり、毎日部屋で雑談をしたりと、オフの時間も楽しく過ごせたようだ。

Seiko Mizukami

今度は、長期でホームステイしてみたいです。

海外に滞在する勇気をベルリンがくれた。
「授業はすごく面白いです。少人数だし、意欲のある子が集まっているので、発言も質問もしやすいです」
大学ではフランス語を専攻している水上さんだが、ここでは英語もドイツ語も楽しく勉強できたという。授業で難しい単語が出てくれば、理解できるまで説明し、生徒に分かりやすいようにゆっくりとした英語で話してくれるピーター・ヴィッツ校長、そして、友達のようにドイツ語やドイツ文化についてやさしく丁寧に教えてくれるドイツ語の先生。ドイツでは海外で感じる不安や戸惑いをしっかりと受け止めてくれる先生が迎えてくれた。ホリデー留学を通して、彼女はドイツが大好きになった。
「ベルリンに行くまでは、崩壊した壁のことくらいしか知らなかったんです。でも風景や食べ物も含めて、様々な角度からこの地に触れることができた。同時に、海外に長期滞在する勇気ももった気がしました。本音を言えば、半年くらいここに滞在したいですね」
行き先はどこでも、日本を出ると視野が広がる。「海外に住みたい」と小さい頃から思っていた水上さんは改めて母国の良さを認識し、海外に目を向ける良い機会になったようだ。「今度は他の国にも行って、ホームステイしてみたいですね。もちろん、長期で!」

Tomohito Aoki

外国人と触れ合うのは、難しいことじゃない。

言葉の壁はまだ高いが、外国の壁は低くなった。
海外に行くのは初めてだったという青木さん。「英語が学べて、かつ長い期間滞在できる場所がいい」と、三週間のプログラムが用意されたベルリンキャンパスを選んだ。
歴史を感じるレンガ造りの建物に目を奪われ、改札のない電車に驚き、日本との文化の違いを感じながらも、現地の人との交流の中でコミュニケーションの力を感じた青木さん。同時に英語の重要性が身にしみたといい。
「ベルリンで一番強く感じたのは、言葉が通じないとこんなに大変なのか!ということ。元々大学内の英会話スクールに通っていたので、聞き取りはできるけれど、まだ自分の言いたいことを言葉にできない。でも逆にそれですます、英語学習へのモチベーションが上がりました」
その一方で、彼の中での「外国の壁」は低くなったという。「日本人以外の人種と触れ合うのは、難しいことじゃないんだと思えました。これは一番の収穫といえるかもしれません」
フリータイムで外出したとき、電車が止まるトラブルに見舞われた彼。友達とマップを見たり英語で人に聞いたりして、トラムや電車を乗り継ぎ自力で宿に戻った。そんな異国の地でのプチ・サバイバル体験も、彼を少し成長させてくれるひとつのきっかけとなったに違いない。

国際関係の仕事にも、興味がわいてきました。



青木智仁さん 文学部社会学科

ドイツを立つ日は涙が止まらなく、空港のゲートの中からも、ピーター・ヴィッツ校長に向かって何度も「ピーター!」と呼んだという青木さん。「彼はまるで、本当の父親のようでした」

Germany

Teikyo University Group Berlin Campus
帝京大学グループベルリンキャンパス[ドイツ]



ベルリンで過ごす時間は、驚きと感動の連続です。

午前の授業後、ベルリンの中心地に見学へと向かう学生たち。バス、トラム、電車を乗り継いで目的地へと急ぐ。

素敵な仲間、そしてドイツ語。 新しい出会いが詰まった3週間。

美しい環境と、文化と人の交流が学生たちを育てる。

ベルリンの中心地から南東に位置する帝京大学グループベルリンキャンパスは、ツォイトナー湖を望み、美しい自然に囲まれている。キャンパスには宿泊施設が併設され、コインランドリーやミニキッチンなど、長期で滞在できるような設備が整う。そのため、キャンパスには帝京大生だけでなく、国内外からたくさんの人々がセミナーや研修などで訪れる。彼らと食堂やバーに集い、帝京大生たちは覚えてきたドイツ語を通じて意思疎通を図っていた。授業で習った語学をすぐに腕試しできるなど、語学を習得するには最高の学習環境といえるだろう。

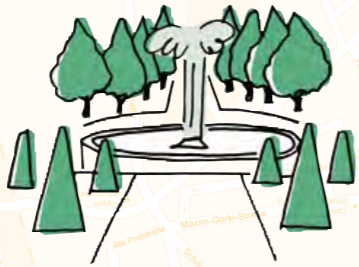


Location
多様な文化をもつヨーロッパの大国



School
Teikyo University Group Berlin Campus
Schmöckwitzer Damm 1G
12527 Berlin Germany
tel: +49-(0)30-675-040

白樺などの林が
広がる環境。
ツォイトナー湖畔に行むベル
リンキャンパスを取り囲むの
は白樺などの混交林。美しい
風景を眺めながら学習にも思
わず熱が入る環境だ。



授業後、ツェツィーリエンホーフ宮殿、
サンスーシ庭園、新宮殿を見学。



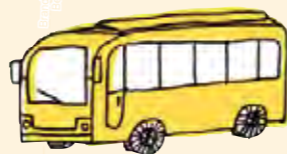
ホロコースト記念碑。
虐殺されたヨーロッパのユダヤ
人のために建てられた記念碑。
街中の広大な敷地に立つ 2711
基の石碑は円盤。



自由行動後、ベルリンの
壁博物館を見学。



テーゲル空港を出発。



授業後、自由行動。
夜から小旅行へ出発。



終日、自由行動。

日本へ帰国。

DAY 19
DAY 20



最終試験、修了証書授与式。



足元に残るベルリンの壁跡。

世界的ニュースとなったベルリンの壁崩壊。
1961年～1989年まで東西ドイツを分断し
ていた壁跡を見た学生たちは、その深い歴
史に思いを馳せる。



ベルギー首都ブリュッセル or
オーストリア首都ウィーンへ旅行
※学生は興味のある方をセレクト。

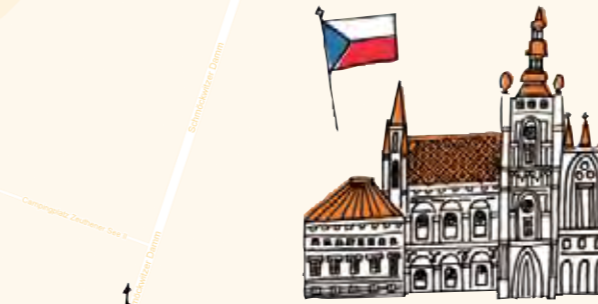


授業後、ベルガモン博物館、
ベルリン大聖堂を見学。

Schedule

20日間の全行程。

授業後に歴史ある街ベルリン市内へ見学に行くのが
ベルリンキャンパスの基本プログラム。
他にも小旅行など魅力的な内容が盛りだくさんです。



チェコ共和国首都プラハへ小旅行。



授業後、アレクサンダー広場、
赤の市庁舎、ニコライ地区を見学。



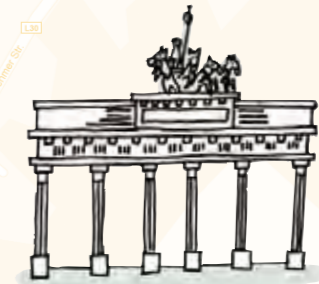
オリエンテーション後、
ベルリン動物園を見学。



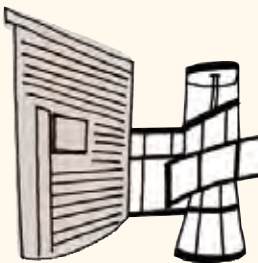
自由行動後、午後は
オペラまたはコンサート鑑賞。



終日ドレスデンへ小旅行。



授業後、ドイツ連邦議会
議事堂、ブランデンブルク門を見学。



授業後、
ドイツ歴史博物館を見学。



授業後、ケーベニック宮殿、
工芸品博物館を見学。



便利なバスで
街中を移動。

ベルリンキャンパスから市街
地へ移動するとき、学生たち
はいつもバスを利用している。
隣の人に話しかけられるなん
てこともあるかも?!



ブランデンブルク門。

東西ベルリンの中心に位置するブランデンブルク門は街のランドマー
ク。ドイツの歴史が詰まったこの地を見学した。

Staff

受け入れてくれるスタッフたち。

授業を教えてくれるのはもちろん、困ったときに助言をくれるあたたかい先生方は、現地で頼れる心強い味方です。



とにかく会話しながら学ぶことが大切です。

Mieko Fisch

フィッシュ三枝子先生

「ドイツには『先生』という敬称をつける習慣がありません。ただ名前を呼ぶだけ。だから気軽に一緒にお話しましょう！という気持ちで授業を進めています」

学生に「間違ふことは恥ずかしくない」と教えたい。

ドイツ語を教える三枝子先生は30年以上ドイツで暮らす。自身がドイツ語を習っていたときの経験が、授業に生きていると話す。「シチュエーション別の会話を丸覚えしても、テキスト通りの言葉を使う機会はほとんどありません。実際に、人と話しながら学ぶことが重要なんです。つたない言葉でも身振り手振りで意志を伝えることが大切。彼女の授業でも、発表がメインだ。「たった12時間だけど、話すことに対する勇気づけをしてあげられたらと思っています」



多くの人と交流しながら、互いの距離を縮めてほしい。

Lothar Peterwitz

ローター・ピーターヴィッツ校長

今までに中国や日本、ロシアなどに留学経験のある彼は「就職後や結婚後はまた見識が違うので、柔軟な学生時代に外国で学ぶことはとても大事だと感じています」と話す。

言葉や人種が違ってても、みんな同じ人間です。

20年前から帝京大生に英語を教えているピーターヴィッツ校長。近年は自立した子が増えたと話す。「ただ日本の学生は、語彙力・文法力はあるのにとってもシャイ。だから話す機会をたくさん作ってあげたい、と思いますね」
今までに約2,000人の日本人学生がキャンパスを訪れたという。各国からもたくさんの学生が集まるため、国際交流も盛んだ。「国は違っててもみんな同じ人間。それをこの場所で知ってもらえることが、一番の誇りです」

Good Point × Germany

伝統が息づく街・ベルリン市街までバスやトラム、電車で気軽に出かけやすい。



先生と一緒に、歴史的建造物を見学。

ベルリンの歴史を振り返る市街地見学へ。ブランデンブルク門へ行く途中、ヨーロッパの街並みを眺めて歓声を上げる一行。

憧れだった場所へ足を運ぶもよし、ふらりと旅をするのもよし。

徒歩圏内にバス停があり、市街地にアクセスしやすいベルリンキャンパス。トラムや電車を乗り継いで、美術館やコンサートホール、ショッピングなどへ気軽に足を運べる立地の良さが嬉しい。授業の空き時間や休みの日には、行きかかった場所へ路線図片手に繰り出す学生も多い。もちろん、目的を決めない気ままな旅も実現できる。街の人と触れ合いながら会話を育てたり、新たな思い出を作ったりすることもできるまたとないチャンスなのだ。

1Day Report

ある日の学生たちをレポート。

言語を学ぶだけでなく、この国の歩みも目で見てほしい。そんな現地の先生たちの思いから、午後はベルリンの市内見学へ。痛ましい過去や発展の歴史の、すべてが詰まった街でした。

Time Table

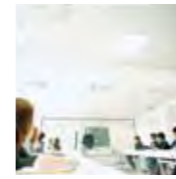
8:15 朝食

焼きたてのパンに、ハム、チーズ、ヨーグルトが定番の朝食メニュー。決められた時間内であれば、自由に食事をとることができる。明るいドイツ人スタッフと笑顔であいさつすれば、眠気も吹き飛ばす。



9:00 授業

学生同士が対面して座り、進められる授業。ドイツ語も英語も、一方通行ではなく、先生が質問を投げかけ学生が答えるという、コミュニケーションに重点が置かれた形式がとられている。



12:15 昼食

授業が終わると、キャンパス内の食堂で、昼食をとる。ドイツ風のラビオリやピザなどメニューは日替り。

13:00 移動、市内見学

ベルリン市の中心街へはキャンパス近くのバス停からバスに乗り、トラム、電車を乗り継いで40～50分ほどで着く。乗車券はすべて同じなので、1日乗車するなら day ticket もある。



14:00 ブランデンブルク門を見学

写真奥に見えるのがブランデンブルク門。東西ドイツ統一の際は、何千人ものドイツ人がこの場所を訪れ、国境開放を祝ったという。ベルリン市民にとって歴史の重みを感じる場所。



14:30 ベルリンの壁跡を見学

「壁があったから、近くのビルには全然陽があたりなかった」。当時を知るピーターヴィッツ校長のお話に学生は耳を傾けていた。

15:00 国会議事堂を見学

ドイツの愛いと喜びを背負って立つ歴史的建造物。建物に書かれている「Dem Deutschen Volke」とは、「ドイツの人々のために」という意味。統一後の開放的なドイツ政治を象徴する斬新なデザイン。



16:00 ホロコースト記念碑を見学

ユダヤ人を迫害した過ちを忘れないようにと建てられた。高さは微妙に異なる。石碑の影に隠れると、何ともいえない恐怖と焦燥感に駆られる。

先生と一緒に行く、ベルリン歴史ツアー。「グリーンモルゲン！」厨房スタッフと元気に挨拶を交わす。帝京大生たち。彼らの引率役でもあるピーターヴィッツ校長と一緒にヨーロッパ式の朝食を楽しんだあとは、彼が担当する英語の授業。先生が「みんな、昨日は何をした？」と学生に英語で質問を投げかける。

西統一後に国会議事堂を修復し、ベルリンが首都として新たな道を歩み始めたこと。それらを話してくれた先生は「ここはドイツの未来とともに、良くないドイツの歴史を表しているんだ」と付け加えた。この日の最後の見学場所は、ホロコースト記念碑（虐殺されたヨーロッパのユダヤ人のための記念碑）。「ここへ入ったら出られないかもしれない」という焦りや緊張を感じてほしい」と、先生。ベルリンの歴史をその目で見ながら、学生たちは何を感じたのだろう。最後はチョコレートショップで、ドイツの甘い香りに包まれながら一日の幕が閉じた。



ここで出会った仲間と訪れた記念です。

ベルリンの歴史が詰まったこの地を散策した一行で仲良く記念撮影。

Voice

留学生たちの声。

「英語を話すのが恥ずかしい」という気持ちが、日に日に薄れていく自分に気付く。ロンドンキャンパスは、そんな学生で溢れていました。



人生に活かせるようないい経験ができました。

松丸忠広さん 医療技術学部臨床検査学科

ホリデー留学で、医療機関の見学も体験した松丸さん。「国や言葉が違っても、病院の設備や根本的な使命は世界共通。『医療』という問題は、国境を越えると改めて実感しました」



今度はヨーロッパの世界遺産を見に行きたい!

牟田友里恵さん 経済学部観光経営学科

キャンパスでお話をしてくれた女の子、アリスンとも仲良くなった。「よく私たちの部屋に遊びに来てくれました。メールアドレスを聞いたので、一緒に撮った写真を送るつもりです」



Teikyo University Group London Campus
帝京大学グループロンドンキャンパス [イギリス]



ステンドグラスを見たのは初めてです。

オックスフォードで訪れた聖メアリー教会。中世の壮大な教会建築に、歓声をあげる学生たち。

豊かな自然の中で生活しながら、本場の英語に触れる旅。

静かなキャンパスで、じっくりと英語を学ぶ

8万平方メートルの敷地を持つ帝京大学グループロンドンキャンパスは、広いグラウンドやシアター棟、温水プールなどを有している。英国の趣が漂う、学校のシンボル「マナーハウス」は、実業家の邸宅として1000年ほど前に建てられたもの。現在は校長室、職員室、事務室として利用されている。また、同じ敷地内には、帝京ロンドン学園高等部があり、高校生たちとも寝食を共にしたり、グラウンドでサッカーをしたりする機会も。帝京大生たちは、設備の充実した環境のなかで、スポーツをしたり勉強をしたりと、のびのびと過ごしていた。



Location

大きな邸宅が建ち並ぶ緑が美しい街。

ロンドンの中心地から車で1時間ほどの田園地帯の中にある。シカヤリス、馬などの動物も見られる自然豊かな環境だ。



School

Teikyo University Group London Campus

Framework Road Wexham
Buckinghamshire SL2 4QS UK
tel: +44-(0)1753-663711

Tadahiro Matsumaru

日本語が通じない、最高の環境で英語を学びました。

語学力も人間性も育つ場所だと思います。

「ここに来るまでは、最初に頭をなで考えてから、英語を聞いたり話したりしていたけれど、難しい文法はともかく、意識しなくてもすんなりと英語がでてるようになったと実感しています」

洋楽を聞いていると、歌っている単語も聞き取れるようになったと、松丸さんはホリデー留学の成果をうれしそうに話す。プログラムの最終日に開かれた晩餐会では、「通訳が上手」と先生たちから表彰をされたという。友達が言いたいことをうまく英語にできなかったとき、意思疎通の手伝いをしてあげたことが評価されたようだ。

「日本で外国人の先生から英語を学んでも、授業が終われば日本語の会話に戻ってしまうんですよね。でもここでは、日本語で話しても絶対に日本語では返ってきません。街に出れば、英語を使わないとショッピングもできない。英語を身につけるためには、最高の環境だったと思います」

また、彼は仲良くなった高等部の生徒たちと、休み時間に広いグラウンドで、サッカーをして遊ぶこともあったという。「高等部の生徒はみんな礼儀正しくて、親切な子ばかりでした。きっと緑豊かで広々とした学習環境だからなのでしょう。良い人間性が育つという意味でも、学習するのに最適な場所だったと思っています」

Yurie Muta

ヨーロッパの街並みや文化に興味を覚えました。

初めての外国で、文化の違いを実感。

生まれて初めての海外にロンドンを選んだ牟田さんが、留学中に一番印象的だったと話すのは、街を歩くと必ず目に入る美しい建築物だ。

「イギリスの街には、古いレンガ造りの建物が今も至るところに残っているんです。マンションでも、100年以上前の建物が使われていたり。パリでも、街の景観を考え、洗濯物は室内に干したりしているようです。こういう形で自分の国の古き良き文化を守っている意識が高いところが、日本とヨーロッパでは違うなと感じました」

授業でも、最後のスピーチコンテストではロンドンと日本の

建築の違いについて調べ、発表したという彼女。将来は観光関係の仕事に就きたいと考えていることもあり、もっといろいろな国の文化を知りたいと思うようになったという。

「同時に、英語学習への意欲もわいてきました。今までは、英語は苦手意識が強かったけど、ここに来て英語を勉強することが楽しいと思えるようになりました。観光関連の仕事に就くことができたなら、英語を使って外国人のお客さんともスムーズにやり取りができるようになります」

その国の文化を知れば、外国人との距離はぐっと近くなる。そして、牟田さんはそれを伝えるために必要な、言葉の持つ力の大切さをここで学んだようだ。



暖かいもてなしに感動のファミリービジット。

イギリスの一般家庭を訪問。伝統的なアフタヌーンティーをいただきながら、イギリスのあたたかいもてなしに心癒される時間だ。



毎日の授業は真剣。
文法やライティングなど英語の基礎を学ぶだけでなく、イギリスの歴史や文化についても学ぶ。もちろん授業はすべて英語で行われる。



終日、自由行動。



希望者のみウェクサム病院を見学し、
午後は授業。夜はプールへ。



授業後、午後はスピーチコンテスト。
夜に、お別れパーティーを開催。



ロンドン市内を見学し、
午後はミュージカル鑑賞。

日本へ帰国。

DAY 19
DAY 20



ヒースロー空港を出発。



終日ロンドン市内を見学
(セントポール大聖堂など)。
夜は、体育館でスポーツ。



夜はパブへとり出す。

パブはビールやイギリス料理が楽しめる、地元住民で賑わう憩いの場。学生でも気軽に利用できるのでぜひ一度は足を運びたい。



終日授業後、夜はパブ・ナイト。



コッツウォルズの村々を見学し、
クリームティーを味わう。



オックスフォード市内を見学、午後はウォークラリーなどを行う。



授業後、午後はイギリス家庭を訪問。夜はビリヤードへ。



授業後、午後はウィンザー城を見学し、
夜はスーパーマーケットTESCOへ。

DAY 10

DAY 9

DAY 8

DAY 7

DAY 6

DAY 5

DAY 4

DAY 3

DAY 2

DAY 1



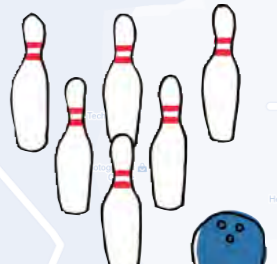
2泊3日の小旅行に出発。
この日はストラトフォード・アポン・エイボン
(シェイクスピアの故郷)の街を見学。



オプションツアーor
ホームステイ(希望者のみ)。



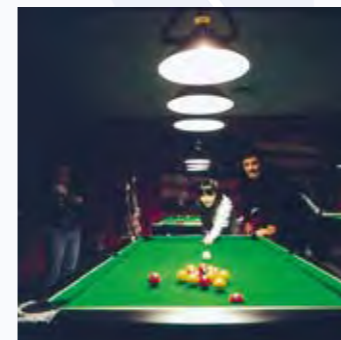
終日ロンドン市内を見学。
バッキンガム宮殿や大英博物館などへ。



終日授業。夜はボーリングへ。



授業後、午後はスポーツ、
乗馬。夜はプールへ。



スヌーカーを楽しくプレイ。

スヌーカーとはビリヤードの1形態で、イギリスではとてもポピュラーな娯楽だ。色によって点数の異なるボールを落として合計点を競う。



オックスフォードの美しい街を散策。

35のカレッジが点在する大学都市、オックスフォードは中世の香りが漂う。街のシンボル「カーファックス塔」からは街が一望できる。

Schedule

20日間の全行程。

ロンドンの街だけでなく郊外の村々にも訪問。実際に足を運ぶことで、今まで知らなかったイギリスの生の文化に触れることができます。

Staff

受け入れてくれるスタッフたち。

授業で分からないことがあれば、
理解できるまで丁寧に教えてくれる、
厳しくもやさしいスタッフが迎えてくれます。

英語上達の秘訣は、 リラックスして話すこと。

日本の生徒に教えるのは初めての経験でしたが、みんな、とても楽しんで授業を受けているように感じました。英語を学ぶということは、リーディングとライティングをこなすだけではない。語学は自分で使っていくことが、一番重要な学習だと私は思います。学生たちはとてもまじめで意欲的なので、友達や家族と一緒にいるときのように、もっとリラックスして話せば、英語もすぐに上達していくでしょう。

Tanya Scheldt

タニア・スヘルデさん

モスクワ州立大学外国語学部卒業。外国人に英語を教える傍ら、現在はロシア語の法廷通訳としても活躍中。



何でもポジティブな姿勢が大切!

学生たちの成長が、 目に見えてわかりました。

初めはシャイで英語を使うことを躊躇していた学生たちも、授業を進めるうちに、徐々に話始めてくれたのがうれしかったです。ここの授業で大切なことは、単に与えられた問いに対して答えを出すだけではなく、自分で考えて積極的に意見を言うプロセスだと思っています。プログラムの最後では、積極的に私のところまで質問をしたり話しかけたりするようになったので、私もとても楽しかったですね。

Bianca Anechitei

ビアンカ・アネチテイさん

オックスフォード大学で、歴史学とフランス語学を専攻。とにかくいつも笑顔で明るい!



イギリスでの経験を今後も活かしてください。

Lucy Mason

ルーシー・メイソンさん

日本の学生は真面目で、 とても礼儀正しいです。

私たちが「授業を聞きなさい」と言わなくても、スムーズに進められるのが素晴らしいと思いました。イギリスの学校だとそうはいきませんから。意欲的な授業態度をみていると、日本の学生はとてもしつげが行き届いていると思いました。注意をする時間にとらわれないが、授業の幅も広げることができたと思います。



あつと言う間の3週間でした。

昨年オックスフォード大学を卒業。6月から、ロンドン中等学校で理科の先生の仕事を始める。

Sam Greenbury

サム・グリーンバリーさん

先生と生徒だけれど、 友達みたいな関係です。

日本の学生は静かに授業を聞いてくれるから、とても授業が進めやすかったですね。今後も英語に興味を持って勉強してくれればうれしいです。また、自分と同じ年頃の彼らと交流をすることで、日本とイギリスの文化の違いに触れ、日本への興味が深まりましたね。いつか、日本へも行ってみようと思います。



いつか、日本にも行ってみたいです。

オックスフォード大学の卒業生。趣味は旅行で、異なる文化を持つ魅力的な人と出会うのが好き。

Good Point × UK

悠久の歴史が刻まれた
名門の重みを、肌で感じる。

厳肅な雰囲気なかで、ランチをいただく。

イギリスの伝統が漂う由緒あるカレッジ内の食堂。ランチのメニューは鮭のソテーに副菜、パン、デザートだった。



オックスフォードの街全体に 点在するカレッジを訪問する。

イギリスの首相や研究者を多数輩出している名門・オックスフォード大学。英語圏では最古の大学とも言われ、各カレッジ(学生寮)の建物は今も中世の雰囲気がそのまま残る。大学の建物は、オックスフォードの街中に点在しているため、2010年のホリデー留学では街を散策しながら、いくつかのカレッジを見学後、カレッジの食堂でランチを楽しんだ。「こんなに美しい建物で授業をするなんて」と驚く帝京大生も多く、日本とは異なる大学の雰囲気に刺激を受けていた様子だった。

1Day Report

ある日の学生たちをレポート。

現地のイギリス文化に、どっぷり浸かったこの日。
緊張することも多かったけれど、その分たくさんの
思い出が胸に刻まれ、忘れられない1日となったようです。

Time Table

1 7:30 朝食

食事は日本人の口に合うように工夫されている。朝食は白米のほか、トーストやシリアルなど数種類から選べ、サラダバーもある。



2 9:00 授業

授業は食事やお祭り、趣味など毎回テーマを変えてイギリス文化に触れながら、英会話を学んでいく。プログラムの中盤にはイギリスと日本を比較した英字新聞を作り、発表する場面も。



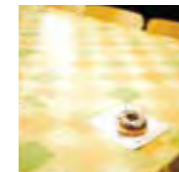
3 12:15 昼食

通常は食堂で昼食を取るが、この日は天気がよかったため外へ。用意されたランチボックスの中身はサンドイッチ、リンゴ、チップス、ジュース。広々としたガーデンでゆっくりと過ごす。



4 13:00 サプライズのバースデーパーティー

昼食後、先生のひとりであるサムが、バースデーを迎えた学生のために、ドーナツの上にキャンドルを立ててプレゼント。イギリスらしいサプライズに、主役の学生は、思わず感動!



5 14:00 休み時間

すっかり仲良くなった学生同士はお互いの部屋でくつろぐ時間も徐々に多くなった。3人集まってもこんなに広々。おしゃべりにも花が咲く。



6 15:00 ファミリービジット

ホームステイ先として日本人学生を受け入れた経験を持つロック夫妻は、帝京大生にもゆっくりと英語で話しかけてくれた。

7 19:30 スヌーカー

キャンパスのバスに20分ほどゆられ、スヌーカー場へ。色によって点数の異なるボールを落として合計点を競い、ゲームを楽しむ。

現地の文化に触れて、ロンドンも英語も楽しむ。朝から活気でいっぱいなのは食堂で朝食をとった学生たちは、3クラスに分かれて授業を開始。1クラス50分のショートプログラムが、午前中に3コマある。4人の先生もローテーションで、3つのクラスを行ったり来たり。学生たちも講義に耳を傾け、発言にも熱が入った。午後はメインプログラムのひとつであるファミリービジットへ。3グループに分かれて、それぞれがロンドンの家庭を訪問する。あるグループが訪れたのは、キャンパス近くのロックさん宅。学生たちは、かわいらしいインテリアや暖炉などために

息を漏らす。最初は少し緊張気味だったが「一杯目の紅茶は苦いからお砂糖を入れるのよ」などと教えられながら本場のイングリッシュティーを楽しむうちに、みんなの表情も緩み、自然と会話も弾んでいった。奥さんが腕を振ったアフタヌーンティーを堪能し、再会を約束してお家を後にする。夕食後、希望者はキャンパス近くのスヌーカー場へ向かった。スヌーカーとはビリヤードの一種。まだまだ手つきは慣れないものの、みんな思い思いに楽しめたようだ。授業から数力所にわたる外出まで、盛りだくさんだった一日。きつとみんな、夜はぐっすり眠れたに違いない。



すてきな自宅ですね!

イギリスの家庭ははじめてかい?

ファミリービジットで訪れたロックさん宅の広い庭で話に参加する学生たち。

Voice

留学生たちの声。

日本語の話せるスタッフが多いにも関わらず、積極的に現地言葉を使おうと努力する帝京大生が印象的な韓国でした。



ますます韓国のことが好きになりました。

奈良郁弥さん 経済学部経済学科

とにかく「Kポップ」が大好きで、韓国に興味を持ち始めた。ホリデー留学の収穫のひとつは「人と接するとき「こういう意見もあるな」と考え方が柔軟になったこと」だという。



春休みを利用できるのも、ホリデー留学のいいところ。

間野祐梨奈さん 文学部日本文学系

韓国のアイドルに魅了され、韓国語を学び始めた間野さん。「彼らの曲を聴いて、歌詞の意味がわかるようになりたい」のだそう。将来は韓国在住も視野にいれ、日本語教師の資格を取得するべく奮闘中。

Korea



The University of Suwon
水原大学校[韓国]



次は韓国の世界遺産を見に行こう!

Fumiya Nara

現地の学生と仲良くなれて、とても嬉しいです。

楽しく会話するために、もっと語学力をつけたい。元々韓国に友達がいってパソコンのメールなどで情報交換などを積極的にやっていて、奈良さん。次第に言葉よりも実際に現地で生活してみたい、友達を作ってみようという思いを持つように。そして、「韓国人の友達を100人つくりたい」という壮大な目標を持ってホリデー留学に参加。そんな彼にとって一番重要だったことはやはり現地の学生との交流だったようだ。日本語学科の教室に顔をだし、キャンパス近くの食堂やカフェと一緒にいたりして、すっかり学生たちと仲良くなった。

「すごく充実した3週間でした。もっとこの国で言語を学びたいという気持ちが強くなり、先生に相談したところ、1年間の交換留学制度があることを教えてくれました。今真剣に参加を考えています」 滞在中は辞書を片手に、わからない単語があればすぐに調べて、会話を楽しんだという彼は、はじめは何を言っているのか全くわからなかったが、次第に言葉にも慣れ相手が何を言っているのか理解できるようになった。一歩踏み込んだコミュニケーションができたときに喜びを感じたという。 友達ができればスムーズにコミュニケーションをとりたいと思うのは自然の流れ。100人目の友達ができる日もそう遠くはないかもしれない。

Yurina Mano

授業もホームステイも実りある時間でした。

韓国に訪れるたび、素敵な経験が待っている。韓国のアイドルユニットを好きになったことがきっかけで韓国に興味を持ち始めた間野さん。大好きなメンバーが韓国語、日本語、英語の3カ国語を話せるトリリンガルだったこともあって、憧れを抱くようになった。以来何度も現地に足を運び、今回は4回目の訪問になる。 元々韓国語を勉強していたときに、英語の文法のように順序を入れ替えず、日本語の文法と同じ仕組みなので意味が分かりやすいと感じたという。また、音声学の先生による発音の指摘について「読み方の基礎を改めて学ぶことができた」と嬉しそうに話す。「ハングルは読めて

も、声に出すのが難しく、何度も間違えました。先生に修正してもらってからは、ホテルのフロントでも言葉が伝わるようになりました」 そんな意欲的な彼女の印象に残ったプログラムはなんと、いつもホームステイ。お世話になったホストファミリーの学生はもちろん、その両親にもとても親切にしてくださいましたという。「夕飯がとにかく豪華。スンドゥッチという豚の腸詰めを食べたことはある?と聞かれたのではないと答えたら、お父様が買い出しに行ってくれたんです」 帰り際も彼女の家族用におみやげや韓国海苔などたくさんのお土産を持たせてくれたという。韓国の人々の温かい心がまた彼女をこの地と呼び戻すことだろう。

真っ赤な列車にゆられ片道30分。水原市内にある世界遺産「華城」をじっくりと見学する学生たち。

日本の“お隣”大韓民国で 荘厳な歴史と文化を知る。

学習意欲をかき立てる、絶好の環境が特長。

世界文化遺産の「水原華城」にほど近い華城市に位置する水原大学校。ソウルからのアクセスも良いうえ、キャンパス近くには多くの飲食店が点在している。昼休みや放課後など、多くの学生で賑わいを見せる。 2008年に帝京大学と交流協定を締結した水原大学校は現在10の単科大学が集まり設立されている。中小企業と共同研究をするための先端科学技術センターなど附属機関もある。

プログラムには、語学研修や文化施設の見学だけでなく、ホームステイや水原大生との交流会も組み込まれ、韓国語を使う機会にも恵まれている。



Location
世界文化遺産の華城で知られる歴史的な都市。



School
水原大学校
京畿道 華城市 峰澤邑 臥牛里 山2-2
tel: +82-(0)31-222-2101~4

Staff

受け入れてくれるスタッフたち。

日本語が堪能なスタッフが揃う水原大学校。
21日間のプログラムを通して、語学だけではない、
たくさんのお話を教えてもらいました。



帝京大学への留学生も
増えたら嬉しいですね。

宋占鍾

ソン ジョム ジョン さん 国際協力課 課長

宋さんは学生の宿泊施設や食事、移動手段、そしてプログラムの企画などを行ってくれた。
「帝京大生たちは一生懸命勉強に取り組んでおり、非常に良い印象を受けました」

韓国人との触れ合いが、韓国を知る一番の近道。

今回、全般的に帝京大生のお話をしてくださった宋さん。数あるプログラムの中で特に力を入れたのは、家庭訪問だ。「水原大生と友達になったり、一般家庭に宿泊したり、韓国のことをより深く理解してもらえたと思っています」

韓国人と多く触れ合いながら、短期間での修得が困難な韓国語や文化に対する知識を補う。その狙い通り、帝京大生は3週間で見違えるほどの成長を遂げた。
「今後は学内に、ホリデー留学生を援助する学生グループを作るつもりです」



韓国をもっと好きに
なってもらいたいです。

李成根

イ ソンゴン 教授 日本語科教授、文学博士

韓国語会話の授業を担当。「日本の学生はおとなしいですね。でもここに来たきっかけを聞くと、みんな自分のやりたいことが明確。しっかりしていると思いますよ」

問題解決能力を養うためのサポートをします。

「まずは言葉に親しみを持ってもらうことを目標としています」

李先生が授業で教えているのは、街に出てすぐに使える韓国語。しかし時間が限られているため、すべては教えられない。「必ず足りない言葉が出てくる。するともっと知りたくなって、自ら学ぶようになるんです」

簡単な日常会話をベースに、実生活で困ったら自分で解決する能力をつける。それが、このキャンパスの狙いでもあるのだ。

Good Point × Korea

その国の文化を知るなら、まずは食から。
韓国は価格も手頃楽しめます。



大衆食堂、屋台、焼肉店など、 バラエティー豊かな韓国の食文化

ビビンバやクッパなど、日本でも韓国料理はポピュラー。米を主食とする点は日本とも似ているが、香辛料や独自の調味料を多用するのが韓国料理の特徴だ。価格も手頃なので、いろいろ食べに出かけてみよう。水原大学校近くの食堂「金家」は学生や教授たちが集う大衆食堂。韓国家庭料理が手頃な価格で楽しめる。また、水原市の中心街へ行くと屋台や焼肉店などが多数ある。食事をしながら、覚えてきた韓国語で店員さんとの会話にチャレンジしてみるのもいいかもしれない。

1Day Report

ある日の学生たちをレポート。

キャンパスのある水原市周辺には、歴史的建造物がたくさんあります。学校で言語と食文化を学んだあとは、みんなと一緒に荘厳な王宮へと足を運びました。

韓国の文化・歴史を肌で感じる1日。
1日の始まりはホテルの朝食から始まる。米やパンの他に、お粥や日本風の朝食に近いラインナップだが、本場・韓国の味も同時に楽しむことができる。朝食後は送迎バスに揺られ、校舎は午前中に韓国語会話、ハンゲル入門や歴史などの授業を教室で受け、午後は実践的に韓国の文化を学ぶための「主題別活動」へと移る。日によっては市内観光や自由行動も設けられている。この日の午後は韓国の代表料理であるビビンバとブルコギを作ることに。もやしやにんじんなどの馴染み深い食材の他に「トナリ(キキョウの根)」

という珍しい食材も使用し、二手に分かれ調理を行った。続いて一行はユネスコ世界文化遺産「水原華城」へと出かけた。本物の歴史的世界遺産に触れ、学生達は感無量の様子。真っ赤にペイントされた華城列車に乗り、東京ドーム約28個分という広大な敷地をのんびりと巡る。その後は韓国ドラマ「宮廷女官チャングムの誓い」のロケ地として知られる華城行宮へ。ファンタジーの学生は歩きながら何度かシャッターを切った。盛りだくさんの一日を終え、夕食をかねて自由行動に。美味しいそうなお店の写真を見ながらどこか入ろうか頭を悩ませる。さて、みんなは何に舌鼓を打ったのだろうか……。

Time Table

1 7:30 豊富なメニューの朝食

バイキング形式の朝食。白米のほかにも、焼き魚やみそ汁といった日本食メニューも。キムチが用意されているのは韓国ならでは。



2 9:00 韓国の歴史を学ぶ

「韓国の歴史と文化」の授業で、大韓民国の成り立ちを教わる。韓国の視点で行われるので、新しい発見も多い。



3 12:00 韓国代表メニューの調理実習

この日はビビンバとブルコギの調理実習を行うことに。学生たちは韓国語が英語で、積極的に先生と会話しながら進める。共通の目標に向かって作業していると、言葉の壁もなくなっていきそうだ。



4 15:00 世界遺産「華城」を見学

李氏朝鮮王朝末期につくられた水城華城は1997年に世界文化遺産に認定されている。



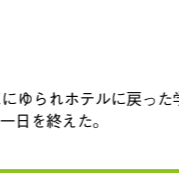
5 16:00 「華城宮廷」を見学

赤い帽子がキュートで日本語が堪能なガイドさん。訪れた一つひとつの建物について丁寧に説明してくれた。ドラマの舞台だったことでも知られ、宮廷内には撮影当時の写真も飾られている。



6 17:30 水原市内で夕食

韓国料理屋が軒を連ねる水原市の中心街。焼肉(サムギョプサル)から屋台で買えるトッポギまで、その選択肢は広い。もちろん学生たちはお店のスタッフと自力でコミュニケーションをとる。



7 19:00 帰宅

水原市内での自由行動を終え、大学のバスにゆられホテルに戻った学生たち。授業から見学まで盛りだくさんの一日を終えた。



とても勉強になりました！

韓国の文化は堪能できた？

別の日、ソウル市内にある韓国国立博物館を訪れ、韓国の歴史と文化を学んだ。

Letter From President

学長からの手紙

学生時代に留学することの大切さとは？
ホリデー留学の意義について、冲永学長がメッセージを送ってくれました。

留学の一番大きな意義、それは「自分という存在」を改めて感じられることだと思います。異文化圏に身を投じることで、育った環境を顧みることができ、その経験がやがて、自分の本来の姿を俯瞰で見ることができるようになります。言語や歴史を学ぶことももちろん大切ですが、「人間性の充実」という側面から見ても、留学から得られるものはとても大きいといえます。

また、長期留学のハードルは決して低いものではありませんが、ショートタームのホリデー留学なら、積極的に外に出ようという気持ちを醸成し、海外への興味を高めることができるチャンス。素直で無邪気な部分を残す学生という立場だからこそ、思いもよらない経験をすることもできる減多にない機会です。海外で過ごした時間は、きっとこれからの人生にも生きてくでしょうし、新しいことを始めるための前向きな姿勢に昇華することもできるでしょう。

大学の3つの柱のひとつである『国際性』という面からも、学生のうちに留学をすることは非常に有意義だと感じています。

私自身、海外に滞在して仕事や勉強をしてみたいという思いはありますが、今となっては、なかなか容易に叶うことはありません。

だからこそ、たっぷりある時間を有効に使えるという学生の特権を大いに利用して、外へ飛び出して行ってください。

冲永佳史

Outline of Study Abroad Program

ホリデー留学までの流れ

留学のイメージをふくらませたところで、ホリデー留学プログラムの申込みから出発までの流れを確認しましょう。

1 プログラム概要

まずは、希望の留学先を決めましょう。

留学期間

約2～3週間(留学先によって異なる)。原則、夏期休暇中と春期休暇中の年2回実施。

対象

帝京大学 / 帝京大学短期大学の全学部・全学科に在籍する学生。
(※帝京大学グループの学生も一部参加可)

留学先

- ・帝京大学グループ ロンドンキャンパス(イギリス)
- ・帝京大学グループ ベルリンキャンパス(ドイツ)
- ・コロバス州立大学(アメリカ)
- ・水原大学校 / 水原科学大学 / 東亜大学校(韓国)
- ・アドヴァンシア大学(フランス)

※単位認定は約3週間のホリデー留学で4単位(学部・学科により認定科目が異なります)。
※留学先及び留学期間(時期)については変更となる場合があります。

2 申込みまでの流れ

留学先を決めたら、帝京Study Abroad Center (T-SAC)で申し込みを。



ホリデー留学に関する問い合わせ

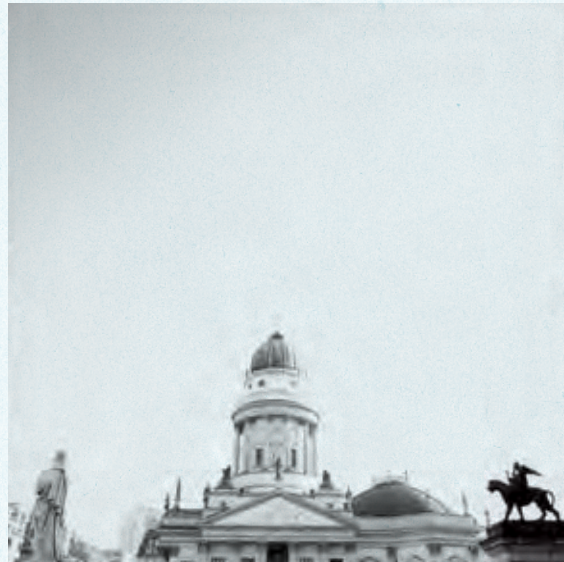
帝京Study Abroad Center (T-SAC)
TEL: 042-678-3237 FAX: 042-678-3544
e-mail: t-sac@main.teikyo-u.ac.jp



TEIKYO UNIVERSITY

Study Abroad Program Data Book

USA, Germany, UK, Korea



GERMANY_Berlin



KOREA_Suwon



USA_Columbus



UK_London



1 Information

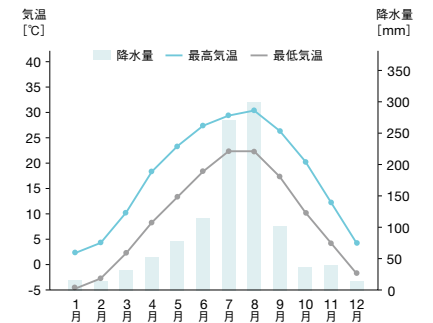
基本情報

- 国名
Republic of Korea(大韓民国)
- 人口
約4,977万人(2010年)
- 宗教
信教は自由(キリスト教徒27%、仏教徒24%ほか)
- 政体
民主共和国。韓民族からなる単一民族国家。
- 通貨
₩(ウォン)レート 1000₩=76円(2011年5月2日現在)
- 時差
日本との時差はない
- 国番号
82

●電圧・プラグタイプ

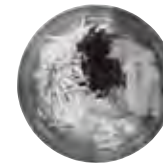
220V C  SE  110V A 

●平均気温・降水量



3 Meal

食事



キムチマリククス

ごま油風味の大根のつけ汁に麺を入れて。「クックス」とは韓国語で麺の意味。冷麺のようなごしがたまらない。



キムチボクンパン

本場のキムチと豚肉で作られたチャーハンに目玉焼きをのせたもの。定番ながらも、地元民にも人気だ。

4 Facilities

設備

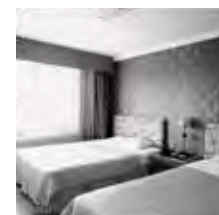


多くの蔵書を抱える大学図書館

広大な水原大学校の敷地には様々な大学施設があり、図書館もそのひとつ。ここで読書をしたり、施設内の文房具店で買物もできる。

2 Room

部屋



ホテルで快適な滞在

水原大学校にも寮があるが、長期休暇中は利用できないため帝京大生たちは近くのホテル「ラビドール」に宿泊。近々新しい寮を建設予定だという。

USA

Germany

UK

Korea

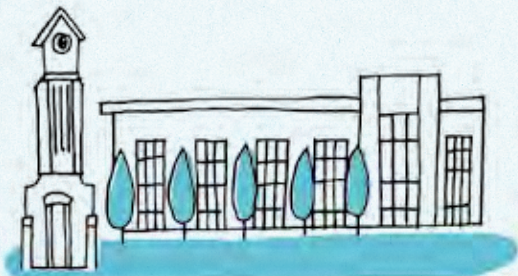


7 Column
コラム



4大スポーツに対する熱い想い

アメリカの4大スポーツといえば、野球、バスケット、アメフト、アイスホッケーである。大学構内にも、本格的な野球場、バスケットコートなどが併設されていて、対抗戦などがあれば、すぐに応援にかけつけられる。



4 Shopping
ショッピング



大型店舗でまとめ買いが基本

コロンバスのような郊外では、大型の買い物施設が充実。日用品はウォルマートのようなスーパーマーケットが便利。ちょっとした日本食も揃う。ホテル近くにあるピーチツリーモールでは、お土産や洋服も買える。

5 Facilities
設備



毎日の授業はここで

帝京大生たちが主に授業を行う通称「TURNER CENTER」。他国からの留学生もこの教室で授業を受ける。



大学の存在を知らせるロードサイン

国道を走っているとコロンバス州立大学の入口を知らせる看板が際立つ。電光掲示板には、帝京大生を祝福するメッセージ。

6 Sightseeing
観光

自らが学ぶ町を知るにはまずは博物館へ

ジョージア州とアメリカ南東部の歴史や芸術を学ぶことができる博物館のなかでは、最大級の規模を誇るコロンバスミュージアム。貴重な資料の展示から、実際に触れて体感するものまで幅広い。ゆっくり見学するには、数時間必要な広さだ。



**世界中で飲まれている
コカ・コーラの原点**

薬の研究をしていたペンバートン博士が、コカ・コーラの試作に成功した薬局跡。これがのちに製品化され、アトランタで飲料として売り出されることとなる。世界的企業になった今も、静かな通りの裏手にひっそりとたたずんでいる。



2 Room
部屋

大きな窓で日当たり良好

中庭を囲うように建てられているホテルは、広々として気持ちいい。部屋は二人一部屋で、大きなベッドがアメリカンサイズ。



3 Meal
食事



ランチビュッフェその1

ミートローフ、コーン、ビーフチップス。アメリカっぽいメニューが多いが、メニューが豊富で毎日替わるので飽きない。



ランチビュッフェその2

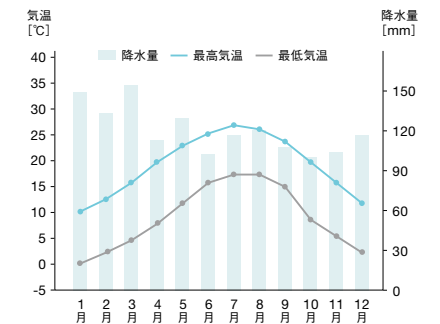
ミートボールとトマトソースの Pasta、コーン、プリトー。大学のカフェテリアはビュッフェ形式で、ランチは7.75ドル。

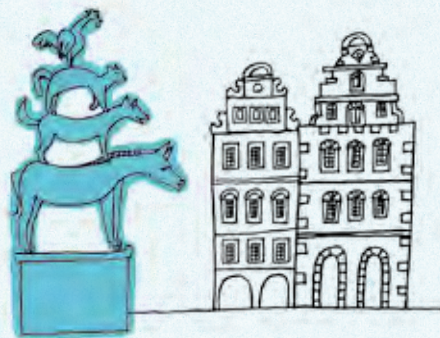


1 Information
基本情報

- 国名
United States of America (アメリカ合衆国)
- 人口
約3億914万人 (2010年4月 米国国勢局推定)
- 宗教
キリスト教 (主にプロテスタント、カトリック)
- 政体
大統領制、連邦制
- 通貨
\$ (ドル) レート 1\$=81円 (2011年5月2日現在)
- 時差
-14~17時間 (地域によって異なる)
- 国番号
1
- 電圧・プラグタイプ
120V A

●平均気温・降水量





7 Column

コラム



エコの先進国、ドイツ

日本でも定着し始めたエコバッグは、ドイツが発祥の地。ドイツ国民の環境に対する意識の高さは世界一で、環境対策を推進する「緑の党」という政党もあるくらい。現地に行ったら、そんな先進的な取り組みも学びたい。

4 Facilities

設備



ランドリールーム

日本よりも大きいサイズのランドリールームは、一度にたくさん洗濯できるので友達とまとめて回しても。長期滞在するに欠かせない設備。



パソコンルーム

ベルリンキャンパス内にあり、数台のPCにはもちろんインターネットの設備が整っている。Eメールやレポート作成などに使用できる。

5 Sightseeing

観光

町中にあふれる バウハウスの建築群

小さな街・デッサウには、近代美術・建築史に輝く伝説の学校「バウハウス」の校舎が今も残り、本校舎や教授用住宅など一連の建物は世界文化遺産に登録されている。バウハウスの理念を肌で感じられる。



偉人たちに 思いを馳せる街

ドイツで2番目に古い大学があるライプツィヒは、多くの音楽家や詩人が住み、あのバッハもこの町で晩年を過ごした。聖トーマス教会やバッハ博物館など、彼の軌跡を追いつながり、この街を楽しんでみては。



6 Shopping

ショッピング



日用品に困ったら スーパーマーケットへ

ベルリンキャンパスからトラムに乗って15分ほどで着く、大型スーパー「REWE」。生鮮食品や飲み物のほか、日用雑貨を購入できるので、生活用品はここで。



3 Meal

食事



朝食

ハムやチーズは数種類ある中からセレクト。朝の定番メニューはこれにパンとヨーグルトがつく。温かいパンに心が和む。



夕食

トマトソースがかかったラビオリはボリュームたっぷり。サラタやピクルスが出るので野菜もきっちりとれる。

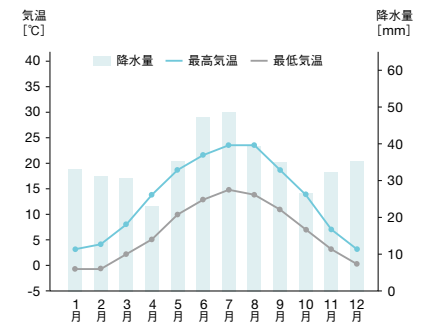


1 Information

基本情報

- 国名
Bundesrepublik Deutschland (ドイツ連邦共和国)
- 人口
約8,180万人(2009年末)
- 宗教
キリスト教(プロテスタントとカトリックがほぼ半数ずつ)
- 政体
連邦共和制。16の連邦州からなり、それぞれ州政府をもち、学校、警察、土地利用計画などの権限をもつ。EU加盟。
- 通貨
€(ユーロ)レート 1€=120円(2011年5月2日現在)
- 時差
-8時間(サマータイムの時は-7時間)
- 国番号
49
- 電圧・プラグタイプ
230V C ●●

●平均気温・降水量



2 Room

部屋



シンプルで ヨーロッパ的な空間

2段ベッドとデスク、本棚などが用意されたシンプルな2人部屋。冬のベルリンは寒さが厳しいため、横幅の大きいオイルヒーターを完備。



4 Facilities 設備



ブレイクルーム

スヌーカー台のほかに、卓球台や大型テレビなども設置されている。勉強に疲れたら少し、ここで体を動かすのもいい。



温水プール

ロンドンキャンパスには、25メートルの温水プールが設置されている。決められた時間に泳ぐことができる。ジャグジーとサウナも完備。

2 Room 部屋



自分の家のように
広々とくつろげる

2段ベッドに勉強机、タンス、ソファ、バスルームを完備している。広々としているので、ランドリールームで洗濯した洋服を干しても気にならない部屋だ。

3 Meal 食事



朝食

目玉焼きにベーコン、ベイクドビーンズは典型的な英国式朝食。主食は米、トースト、シリアルから選べ、お味噌汁もある。



夕食

ソーセージにポテト、そしてつけあわせにボイルされた野菜と、ボリュームたっぷりのメニュー。

1 Information 基本情報

●国名
United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland (グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国)

●人口
約6,180万人(2010年)

●宗教
英国国教会、カトリック、バプティストが主なもの。

●政体
国王を国家元首とする立憲君主制。

●通貨
£(ポンド)レート 1£=135円(2011年5月2日現在)

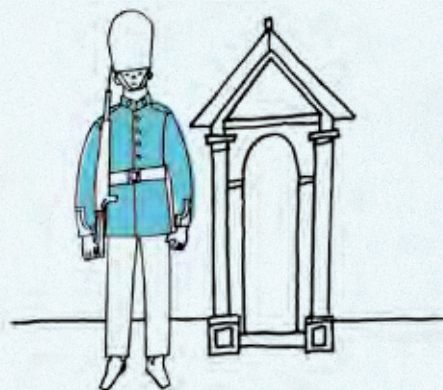
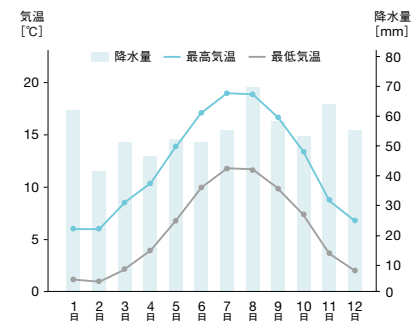
●時差
-9時間(サマータイムの時は-8時間)

●国番号
44

●電圧・プラグタイプ

240V BF  B3  C 

●平均気温・降水量



5 Sightseeing 観光

荘厳なカレッジ
クライスト・チャーチ

オックスフォード大学のカレッジのひとつで、一般の人でも観覧できる。美しい庭園と大聖堂がみどころで、『不思議の国のアリス』の舞台でも知られる。



近くの公園まで
ウォーキング

イギリス人はレジャーでウォーキングを楽しむ。ロンドンキャンパスの周囲にもウォーキングコースが整備されているので、晴れた日はぜひ出かけてみて。



7 Column コラム



母国のサッカー代表事情

なぜサッカーではイギリス代表ではなく、イングランド代表となるのか。これはFIFA(国際サッカー連盟)よりも古い歴史を持つイングランド・ウェールズ・スコットランド・アイルランドの各サッカー協会が、統一されるのを拒んだため。サッカー母国のプライドがFIFAのルールをも覆した。

6 Shopping ショッピング



大型スーパー
TESCO

イギリス国内にある大手スーパーマーケット。食料品のほかに、日用品や薬なども揃っているので、留学生活で困ったときの心強い味方。



USA

Germany

UK

Korea